

HRMOS 採用

ハーモス

Wantedly連携機能

ご利用マニュアル

はじめに

Wantedly連携機能概要と運用時の注意点

連携機能とは

Wantedlyで応募・スカウト返信した候補者のデータを8時間ごとに、HRMOSへ自動で取り込みます。新しい応募・返信があるかをWantedlyで確認し、HRMOSに手動で転記するといった作業を減らし、採用業務の効率を向上させます。



運用に向くケース

- ①Wantedly上で選考管理(メッセージのやり取り含む)がうまくできていないケース
- ②Wantedly含む複数の媒体を利用しており、HRMOSの応募登録に手間がかかるケース

連携されない内容

- ①候補者のメールアドレス
- ②Wantedly上でのメッセージのやり取りとコメント
- ③HRMOS連携後にWantedly上で更新された候補者情報

動作保証に関して

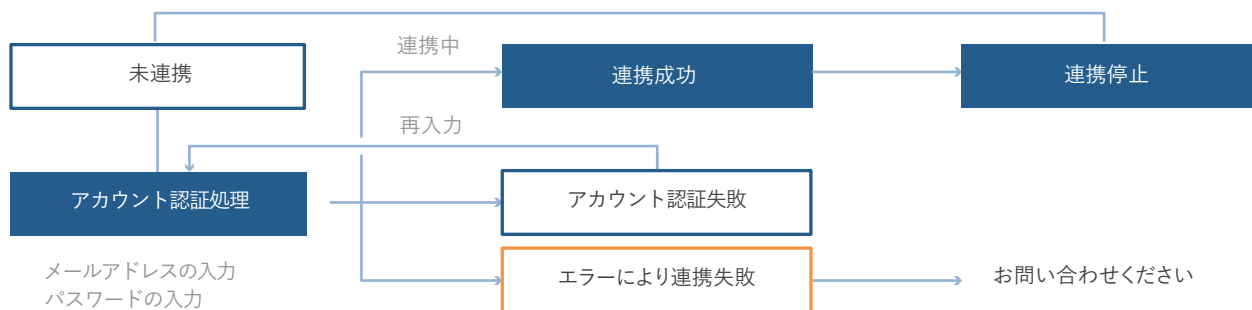
将来的にWantedlyの仕様が変更された場合、連携機能の動作保証ができないケースがございます。予めご了承ください。

アカウントの登録

自動連携開始までのフロー

連携の開始・停止

Wantedlyで利用されている候補者情報を閲覧できるメールアドレス・パスワードを入力していただくと連携できます。



Wantedlyアカウントの登録

番号順に『設定』→『サービス連携』→『Wantedly連携』の順に選択します。この画面でWantedlyでご利用中のメールアドレス・パスワードを入力し『アカウント認証開始』をクリックしてください

入力する前に必ず確認してください

ここで入力いただくメールアドレス・パスワードでWantedlyへ事前にログインし、Wantedly上で候補者情報が閲覧できることを確認してください。候補者情報を閲覧する権限がないアカウントを入力いただいた場合、アカウント認証失敗となります。



連携成功・停止のアクション

自動連携されるまでのステータスの変化と停止の対応法

連携されるまで

連携状況が『アカウント認証中』に変わります。
この認証が完了するには最大で8時間前後かかります。



連携成功のケース

認証が完了して連携成功すると、連携状況が『連携中』に変わります。この状態になると、新しく応募・スカウト返信した候補者データが8時間ごとに自動で取り込まれます。(※連携後の振り分け設定に関してP.6をご参照ください)



自動連携の停止

連携するWantedlyのアカウントの変更、又は不用な場合は連携を停止してください。Wantedly連携画面右上『停止する』をクリックすると、確認画面が表示されます。『停止』をクリックすると自動連携が停止され、連携状況が『未連携』に変わります。



連携失敗時の対応法

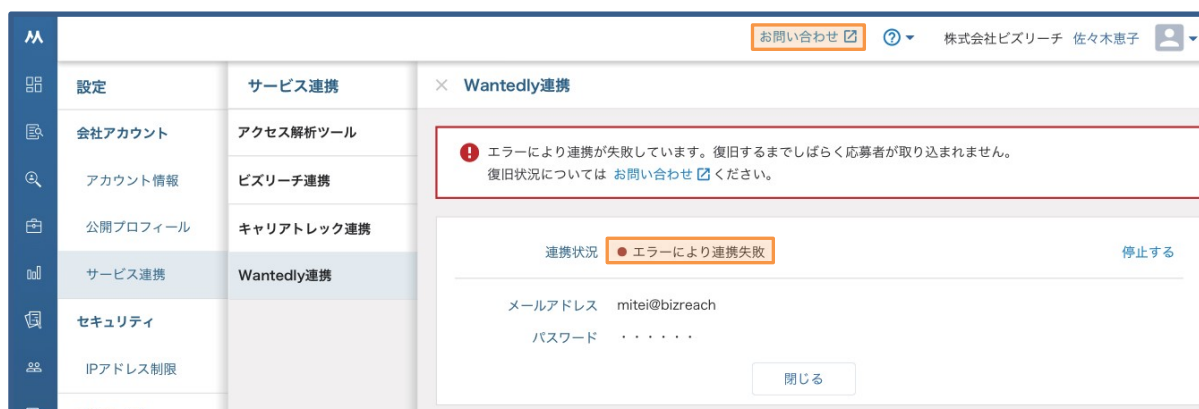
再入力とお問い合わせの違い

パスワード・メールアドレスの誤り

入力いただいたメールアドレスとパスワードが誤っていた場合、連携状況に『アカウント認証失敗』と表示されます。正しいメールアドレス・パスワードを入力し再度『アカウント認証開始』をクリックしてください。

システムエラーの場合

HRMOS上での不具合等が原因でデータを取り込めない場合、連携状況に『エラーにより認証失敗』と表示されます。大変お手数ですが、ページ上部の『お問い合わせ』のリンクから弊社までお問い合わせください。



振り分けルールの登録

求人媒体と募集ポジション、振り分け先の設定

振り分け設定を行う

振り分けルールの登録画面で下記情報を入力します。

- 求人媒体：『Wantedly』を選択
- 募集ポジション名：Wantedlyでの求人名を入力
- 振り分け先求人：上記の求人へ返信がきた際、HRMOSの求人へ応募するのを選択

上記を入力して『振り分けルールを登録』をクリックすると完了です。

以後『募集ポジション名』で入力した求人への応募・スカウト返信が来ると『振り分け先の求人』で入力したHRMOSの求人への応募と見なされ選考状況を管理できます。

× 振り分けルールの登録

• 求人媒体

• 募集ポジション名

• 振り分け先の求人